学生による授業評価　『平成 30 年度授業改善アンケート結果報告』

川崎医療短期大学　FD・SD 委員会

本学では、平成 21 年度から学生による授業評価を組織的、継続的に実施している。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD 活動を展開している。

臨地実習科目は平成 29 年度に授業評価を実施しており、平成 30 年度は講義・演習科目を中心に行った。また、本年度は、川崎医療福祉大学の改組により転学科が決定している臨床検査科、医療保育科、放射線技術科の 3 学科は除外し、看護科、医療介護福祉科 2 学科の学生を対象とした。実施科目は、専任および非常勤講師が担当する授業科目とし、前期・後期それぞれの学期末に授業評価を受けた。

アンケートの調査内容は、1）学生の自己評価（4 項目）、2）授業の基礎的な事項（4 項目）、3）学習の推進に関する事項（3 項目）、4）総合評価（2 項目）の計 13 項目とした。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の 5 段階評価とした。学生には Web（moodle）でアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は前期、後期とも 4.2 と高い満足度が示された。

平成30年度　授業評価結果集計表

大項目	質問項目		前期	後期
Ⅰ 学生の自己評価	1）	私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.1	4.2
	2）	私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.3	4.3
	3）	私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.3	4.2
	4）	私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	3.7	3.7
Ⅱ 授業の基礎的な事項	5）	教員は、授業のテーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示した。	4.3	4.3
	6）	この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.3	4.4
	7）	教員は、時間割に沿って授業を行った（休講、変更をあまりしない）。	4.4	4.4
	8）	教員は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.2	4.2
Ⅲ 学習の推進に関する事項	9）	教員は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫していた。	4.2	4.2
	10）	教員の板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.2	4.3
	11）	教員は、授業を適切な進度で行った。	4.3	4.3
Ⅳ 総合評価	12）	私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.0	4.1
	13）	私は、総合的にこの授業に満足している。	4.2	4.2